

令和8年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号 3606 学校名 加茂高等学校（定時制）

社会的役割等 (スクール・ミッション)	生徒の多様性を尊重し、生徒の学びを保障する定時制高校として 多文化共生を通じたコミュニケーションスキルや社会性の修得、一人一人に応じたきめ細かな教育活動を通して 地域と連携し社会で自立した人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	「基礎学力」と「バランスの取れた人間性」を備え、「社会に出て自立して生きていける人間」を育成する。 1 目的に向かって精一杯努力し、チャレンジする生徒 2 多文化共生社会の一員として適応できる、自律心と協調性を備えた生徒 3 集団をよりよい方向へ導く調整力や発信力を備え、進路を切り開く力を身に付けた生徒		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	・目標に向かって精いっぱい努力し、チャレンジする生徒 ・多文化共生社会の一員として適応できる、自律心と協調性を備えた生徒 ・集団をよりよい方向へ導く調整力や発信力を備え、進路を切り開く力を身に付けた生徒	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	・少人数授業、ティームティーチング授業、ICTの活用等とおして、学びなおし授業を丁寧に実施するとともに、漢字・日本語能力及び計算能力の定着を図りながら、生徒の特性に応じて、検定合格等に挑戦させる、きめ細かな指導の推進 ・外国人生徒の日本語支援にあたる職員やスクールカウンセラー等の相談員、外部の専門機関等による支援体制の充実を図りながら、個人懇談、保護者懇談をきめ細かく実施するとともに、学校行事や部活動の活性化を推進 ・グループ対抗校内日本語プレゼンテーション大会を通してコミュニケーション能力や発信力を育成するとともに、外部機関と連携した進路ガイダンス、企業訪問、卒業生から下級生への助言等、情報収集の機会を充実させ発達段階に合わせたキャリア教育を推進	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	・自らの可能性を信じて挑戦したいという向上心を持ち、目標を見つけて継続して努力したいという意欲のある生徒 ・他者の良さを認めながら、人とつながって学校生活を送りたいと願う生徒 ・学校行事や生徒会活動、部活動に積極的に参加し、充実した学校生活を築いていこうという意欲のある生徒	
学校の抱える課題	・国語・数学を中心に基礎学力の定着が不十分である。また、授業規律について継続的な支援・指導を必要とする生徒が一定数いる。 ・学校の進路指導の取り組みや行事について保護者への周知徹底が不十分な面がある。 ・校内での問題行動は少なくなってきたが、校外の問題や家庭の問題が原因で学校生活に支障が出る生徒が増えている。 ・部活動や学校行事を生徒主体で行うことができていない。多国籍の生徒間で、日本語能力の差などが要因となりお互いが協力し行事運営することがなかなか難しい。		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学習指導	授業規律の確立と基礎学力の習得と定着	
	生徒指導	基本的な生活習慣の確立とバランスの取れた人間性の育成	
	進路指導	社会に適応できる能力の計画的な育成と進路希望の実現	
学校経営	地域社会に開かれ、信頼される学校づくりの推進		
教育職員の業務量管理・健康確保措置の実施	早く家庭に帰る日（8日）の徹底と年次休暇の5日以上取得の推進		

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A, B, C, D	成果と課題	総合 評価 A, B, C, D
学習指導	①少人数授業やティームティーチングを実施するとともに、ICTを活用して生徒一人ひとりの理解度や学習進度に応じたきめ細かな指導を行います。	施策IV-23	・学校評価アンケートや授業アンケートで該当項目について良い評価が70%を達成できたか。 ・校内漢字検定や数学基礎テストを実施し、達成度を確認する				
	②総合的な探究の時間を活用し、日本語能力や計算能力を向上させます。	施策II-8					
	③全教科で授業アンケートを実施し、授業改善を推進し、教員の資質・指導力を向上させます。	施策IV-26					
	④外国人児童生徒適応指導員の支援を活用し、言語面から学力の向上を支援します。	施策IV-22					
生徒指導	①不登校の支援に対応し、安心できる学校環境、雰囲気づくりを推進するとともに、スクールカウンセラーなどの外部の専門家を活用した教育相談の更なる充実を図り、相談しやすい窓口を提供することで早期発見、早期対応を推進します。	施策I-3	・学校評価アンケートや講話後のアンケートで該当項目について良い評価が70%を達成できたか。				
	②心身の健康管理を自ら適切に行うことができるよう、保健体育の授業に加え、夏季休業前の外部機関との連携による保健指導を行います。	施策III-19					
	③個人懇談と保護者懇談を年間計6回実施し、対話を通して生徒の自己肯定感と自己有用感を育成します。	施策I-3					
	④学校行事や部活動を通して、協調性や公共心を育成するとともに、生徒一人ひとりのコミュニケーション能力や自己表現力を涵養します。	施策I-1					
進路指導	①自己の適性を見極め、適切な進路実現を達成できるよう、各学年の意識段階に合わせたキャリア教育を実施します。	施策II-13	・学校評価アンケートで該当項目について良い評価が70%を達成できたか。				
	②健全な職業観を育成するため、外部機関と連携した進路ガイダンス、企業訪問、卒業生や進路決定者から下級生への助言等を通して、情報収集の機会を充実させます。	施策II-13					
	③グループ対抗の校内日本語プレゼンテーション大会を実施し、調整力や発信力を養います。	施策IV-22					
	④外国籍生徒の日本語能力試験合格を支援し、検定や資格の取得を進学や就職に生かします。	施策IV-22					
学校経営	①地域社会にHPなどを活用して情報発信します。	施策IV-20	・学校評価アンケートで該当項目について良い評価が70%を達成できたか。 ・職員の月残業時間は45時間以内であったか。				
	②保護者との連携を強化するために、育友会総会や保護者懇談会の実施に加えて、多言語での一斉配信メール（すぐる）配信や、年3回の加茂高だよりの発行による情報発信をします。	施策IV-22					
	③校内日本語プレゼンテーション大会などを学校説明会やHPを通じて紹介し、地域の方々に学校の様子を知る機会を増やすことで、本校教育活動の理解とPRにつなげます。	施策IV-20					
	④積極的な職員間連携を通して、職務の効率化を図ります。	施策IV-27					

来年度に向けての改善方策等	実施日：令和9年 月 日	学校関係者評価	実施日：令和9年 月 日